

# 英語科「コミュニケーション英語Ⅱ」学習指導案

日 時 令和3年6月17日（木）

対 象 第2学年

## 1 単元（題材）名

VISTA English Communication II New Edition（三省堂）

Lesson 3 The Sagrada Familia Section 2 (P. 26)

## 2 単元（題材）の目標

- サグラダ・ファミリアの概要と、ユニークな建築上の魅力を知る。
- その建築家・ガウディの幼少期の環境が設計にどのような影響を与えたか知る。
- 題材を通して、名詞を修飾する過去分詞と現在分詞の使い分けを理解する。

## 3 単元（題材）の評価規準

ア	イ	ウ	エ
コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
ペア・ワークにおいて、 互いに協力しながら理解 を深めようとしている。		① サグラダ・ファミリアの概要を読み取ることができる。 ② サグラダ・ファミリアの特徴を読み取ることができる。 ③ ガウディの幼少期の環境を読み取ることができる。	① 過去分詞の形容詞用法を理解している。 ② 現在分詞の形容詞用法を理解している。

※本単元では、本文の内容理解を図りながら、言語についての知識・理解を深めることを目的としているため、「外国語理解の能力」を中心に評価することとした。

## 4 指導観

### (1) この単元（題材）の扱いについて

本単元は、学習指導要領 2 内容(1) イ「説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。」に基づいて設定した。この単元では、スペインを代表する建築家アントニ・ガウディによる作品群として世界遺産登録されたサグラダ・ファミリアについて取り上げる。その設計にこめられたガウディの思いや、完成に向けての最先端の取り組みについて紹介し、世界遺産の意義を考えさせる。また、この題材を通して、名詞を修飾する過去分詞・現在分詞について指導する。サグラダ・ファミリアの特徴を描写する表現を用いて、自然なコンテキストの中で言語材料の理解を図る。

### (2) 生徒の実態について

このクラスは二展開のうちの上位クラスであり、男女18名で構成されている。上位クラスといえども、生徒の習熟度には大きな差がある。中には英検準2 級を既に所持している生徒もいれば、中学レベルの英単語を正

しく書けない生徒もいる。しかし、年度当初のアンケートによると、全体的に進学志向の生徒が多く、真面目に授業に取り組むクラスである。この単元の言語材料である過去分詞の形容詞用法・現在分詞の形容詞用法は、中学既習の言語材料であるが、すべての生徒に十分に身につけているとは言えない。Concept Checking Questions (CCQ) を用いて意味理解を確認したり、繰り返し音読したりすることによってパターンの定着を図る。

### (3) 教材の活用について

授業プリント（添付資料1）を使用して授業を進める。英文解釈をする上で重要な主語・動詞の把握を、プリントにある本文に書き込みながら行わせる。また、読解力（Reading for gist：概要を読み取る力 / Reading for specific information：特定の情報を読みとる力）を向上させるため、要約穴埋め問題、正誤問題や英問英答の問題を用意した。漫然と読み、「なんとなく」理解した気になることを避けるため、解答の根拠となる英文の番号を必ず併記させる。

## 5 年間指導計画における本単元との関係

1 学期	月	単元内容（学習内容）	配当時間
	4	<u>VISTA I Lesson 11 Ideas from Nature</u> バイオミメティクス（動植物は、自然界で効率よく生き抜くための形状、機能あるいは生態を有している。これらを研究し、生活の中に活用していく技術のこと）について読むことを通して、分詞構文について学習する。	10
	5	<u>VISTA I Lesson 12 Steve Jobs</u> Apple の創設者であるスティーブ・ジョブズの人生観や功績について読むことを通して、仮定法過去について学習する。	8
	6	<u>VISTA II Lesson 3 The Sagrada Familia</u> サグラダ・ファミリアについて読むことを通して、名詞を修飾する現在分詞・過去分詞について学習する。	7
	7	1 学期のまとめ	2

## 6 単元（題材）の指導計画と評価計画（7 時間扱い）

	ねらい	学習内容・学習活動	具体的な評価規準（評価方法）
第1時	サグラダ・ファミリアの概要を読み取る。	Lesson 3 §1 Lead-in New words Summary 英文解釈 T/F	ア（観察） ウ①（ワークシート）
第2時		Lesson 3 §1 Review Q&A Read aloud + Recitation	
第3時 （本時）	サグラダ・ファミリアの建築上の特徴を読み取る。 名詞を修飾する過去分詞について学ぶ。	Lesson 3 §2 Review Lead-in New words	ア（観察） ウ②（ワークシート） エ①（応答）

		Summary 英文解釈 T/F	
第4時		Lesson 3 §2 Review Q&A Target grammar Read aloud + Recitation	
第5時	ガウディの幼少期の環境が設計にどのような影響を与えたかを読み取る。 名詞を修飾する現在分詞について学ぶ。	Lesson 3 §3 Review Lead-in New words Summary 英文解釈 T/F	ア（観察） ウ③（ワークシート） エ②（応答）
第6時		Lesson 3 §3 Review Q&A Target grammar Read aloud + Recitation	
第7時	名詞を修飾する過去分詞・現在分詞を使い分けられるようになる。	Lesson 3 PRACTICE!	エ①②（観察・応答）

※評価規準ウ・エについては考査によっても評価する。

## 7 指導の工夫

- JET にLead-in（導入）や正誤問題の答え合わせを任せることにより、生徒は必然的にネイティブスピーカーの発話を聞いたり、話したりすることになる。生徒が目的をもって英語でインプット・アウトプットする機会を設けた（「本時の展開」は日本人教員が考案した）。
- 読解力（Reading for gist：概要を読み取る力 / Reading for specific information：特定の情報を読みとる力）が果たしたか確認するために、要約や正誤問題を用意した。また、事前にその問題を確認することで、目的をもって読む流れをつくった。

8 本時（全7 時間中の第3 時間目）

(1) 本時の目標（ねらい）

- サグラダ・ファミリアの特徴を読み取ることができる。

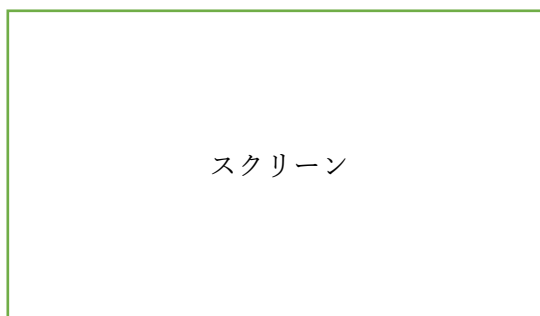
(2) 本時の展開

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
導入 10 分	1. 挨拶・出欠確認 2. 【帯活動】 チャンクで英単語 ・JET の後に続いて音読する ・練習プリントにチャンクを書く ・生徒が自分で丸つけをする	・発音・アクセントに注意させる。	
展開 30 分	1. JET Review (1) T: (Showing a picture) What' s this? S: It' s the <u>Sagrada Familia</u> . (2) T: Is it in Japan? S: <u>No</u> , it isn' t. (3) T: Where is the Sagrada Familia? S: It' s in <u>Barcelona</u> . (4) T: Have they finished the construction? S: <u>No</u> , they haven' t. 2. JET Lead-in (1) T: Today, we' ll take a closer look at the Sagrada Familia. (Showing a picture) This is a part of the Sagrada Familia. Does it look like a cat? S: <u>No</u> , it doesn' t. T: What does it look like? S: A <u>turtle</u> (亀) .  (2) T: OK. How about this? (shows Picture 3) Please discuss in pairs. You have 30 seconds. … All right, any ideas? S: snail, horn, etc… T: Good. We' ll read the text to find out about it. 3. JET New Words (1) Drill pronunciation	・視覚教材と簡単な質問で、前時の内容理解を確認する。 ・下線部が答えられれば可とする。 ・生徒が間違えた場合、” Are you sure?” “Do you all agree?” 等問いかけ、クラス全体に再考を促す。  ・生徒が” Does it look like~?” の形を理解しない場合、” Is this~?” の形で問う。  ・turtle という単語を知らない可能性がある。日本語での解答も可とする。  ・ペアで考えることを促し、多様な考えを募る。 ・日本語での解答も可とする。 ・読む目的を生徒にもたせる。  ・発音・アクセントに注意させる。	ア（観察）

	<p>4. <b>JTE</b> Summary</p> <p>(1) 要約文を確認する。</p> <p>(2) JET の後に続いて本文を音読する。</p> <p>(3) 自力で空欄に当てはまる日本語を書く。</p> <p>(4) ペアで答えを確認する。 わからないところは一緒に考えるか、教えあう。</p> <p>(5) 全体で答え合わせをする。</p> <p>5. <b>JTE</b> 英文解釈</p> <p>1. 自力で主語・動詞に印をつける。</p> <p>2. ペアで答えを確認する。 わからないところは一緒に考えるか、教えあう。</p> <p>3. 全体で答え合わせをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒がうまく読めない場合、Backchaining を行う。</li> <li>・机間指導を行い、生徒が正しく解答できなかった箇所を確認する。</li> <li>・印がつく数を提示する。</li> <li>・机間指導を行い、生徒が正しく解答できなかった箇所を確認する。</li> <li>・iPad を用いて、配布プリントを直接投影する。</li> </ul>	<p>ウ② (WS) ア (観察)</p> <p>ア (観察)</p>
<p>まとめ (10分)</p>	<p>1. <b>JET</b> T/F</p> <p>(1) Statements を確認する。</p> <p>(2) JET の後に続いて本文を音読する。</p> <p>(3) 自力で解答する。</p> <p>(4) ペアで答えを確認する。</p> <p>(5) 全体で答え合わせをする。</p> <p>2. <b>JET</b></p> <p>T: (Showing Picture 3) Now you should know what this looks like. What does it look like?</p> <p>S: It looks like a <u>snail shell</u>.</p> <p>3. 次回の授業の確認・挨拶</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読むべきポイントを確認し、読む目的をもたせる。</li> <li>・机間指導を行い、生徒が正しく解答できなかった箇所を確認する。</li> <li>・解答の根拠となる文を答えさせる。</li> </ul>	<p>ウ② (WS) ア (観察)</p>

(3) 板書

(展開 2(2)での生徒の回答を手書きする)



スクリーン